

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

主管課 商工振興課

政策の柱	Ⅳ 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	取組の基本方向	「商工業の活力を高める」ため、商店街が活気にあふれ、地域コミュニティの核としての多面的な機能も発揮するための「商店街の魅力向上」、中小企業の持続的な成長を支えるための「中小企業の経営・技術革新の促進」、企業経営における基礎体力を強化するための「安定した経営基盤の確立」、多様な消費者ニーズに応え安定した商品供給を実現するための「市場機能の充実」に重点的に取り組みます。
政策名	2 商工業の活力を高める	政策目標	「ひと」、「もの」、「情報」等が活発に行き交い、本市の商工業の活力が高まっています。

2. 政策を取り巻く環境と進捗状況

① 政策を取り巻く環境	国・県等の動向	<ul style="list-style-type: none"> 世界的な不況により、全国的に個人消費が冷え込んでいる状態である。また、デフレの深刻化により、販売単価が下がり、採算が悪化している小売業が多くなっている。 オリオン通り周辺において、空き店舗が増加傾向である。 資金繰りが苦しくなった中小企業などを救済するため、平成21年12月に「中小企業金融円滑化法」が施行された。このため、金融機関は中小企業に対して、出来る限り返済猶予などの条件変更を行うよう努める義務を負うこととなった。 	<p>② 構成する施策に関する市民意識調査結果</p> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 商店街魅力向上 (Blue Diamond) 2. 経営・技術革新 (Green Triangle) 3. 経営基盤の確立 (Red Circle) 4. 市場機能の充実 (Black Square) 	③ 政策の進捗状況	政策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	進捗状況(%)
	外部意見その他	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年6月議会で、「県内中小零細企業が売り上げ低迷により業績が悪化する中での、市としての金融支援策」について質問されている。 平成22年3月議会で、「通行量の減少や賑わいのないことに対する分析、方策」及び「商店街での顧客のサービスと効果」について質問されている。 			指標① (総合計画に基づく指標)	商工業がさかんであると感じている市民の割合	22.0	14.2	10.8			36.0
				指標②								
				指標③								

3. 政策の評価

④ 現状と課題の分析	成果が見られる点	各施策内の事業において、「中心商業地出店等促進事業補助金」、「高度化設備設置補助金」、「CSR推進事業」など、実績が伸びているものや、目標値を概ね達成しているものが多く、商工業の活力を高めることに寄与している。	⑤ 今後の取組方針	総論	景気が先行き不透明である中、商店街が主体的に活性化に取り組む体制を強化し、中核都市にふさわしい活気にあふれた商店街の形成を図る。また、中小企業の技術の革新・経営の合理化の意欲を高めるため、企業が何を必要としているかを的確に把握し、事業のより有効な手法やPRを検討していく。
	改善の必要な点	<ul style="list-style-type: none"> 休日の中心商店街の通行量の目標を達成するために、商店街等がより主体的に活性化に取り組む体制づくりや、事業のより有効な手法やPRを検討していく必要がある。 中小企業の技術革新において、より有効な事業の促進を図るため、国の成長戦略産業分野などの先端分野に取り組む企業を重点的に支援していく必要がある。 商工団体は、中小企業支援の有効なノウハウを持っているため、役割分担の明確化や連携の強化を図り、一体となって中小企業の支援を行う。 中央卸売市場を取り巻く環境が厳しさを増す中、効果的な施設の維持修繕を進め、円滑な取引業務の確保を図る。 		重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 「商店街の魅力向上」については、市民の施策重要度が高い分野であり、中核都市にふさわしい活気にあふれた商店街の形成を図るため、「中心商業地出店等促進事業補助金」の更なる取組などを検討する。 中小企業の技術革新において、環境・情報分野などの先端分野を重点的に支援していく。 金融危機などの急激な社会環境の変化にも迅速に対応できるように、商工団体との連携の強化を図り、市の補助制度や融資制度等についても企業にPRしていく。 中央卸売市場の円滑な取引業務や品質管理の確保を図るため、効果的かつ適切な施設・設備の充実を図る。

4. 政策を構成する施策一覧

No.	施策名	施策の達成状況					施策の二次評価		市民の意識	
		施策の指標(上段:総合計画に基づく指標) (下段:その他の指標)	H19:基準	H21	H24:目標	進捗状況	満足度	重要度	満足度	重要度
1	商店街の魅力向上	休日の中心商店街の通行量(人)	129,609	97,306	143,000	68.0%	総論	急激な景気の回復は見込めないが、今後とも市内の個々の商店街が特色ある新たな事業を実施するためのより有効な手法を検討する必要がある。また、商店街等が主体的に活性化に取り組む体制を強化し、中核都市にふさわしい活気にあふれた商店街の形成を図る。	12.5%	69.4%
						重点事業	中心市街地の空き店舗の減少に努めるため、「中心商業地出店等促進事業補助金」の更なる取組を検討する。			
						見直し事業	「大道芸フェスティバル実行委員会交付金」については、協賛金が事業の基本資金になるような運営体制を築く。			

様式 3

2	中小企業の経営・技術革新の促進	高度化設備設置補助制度を活用した企業数 (件)	40	34	45	75.6%	総論	景気が先行き不透明である中、中小企業の技術の革新・経営の合理化の意欲を高めるため、企業が何を必要としているかを的確に把握し、より有効な手法や事業のPRを検討していく。	10.9%	56.7%
							重点事業	「高度化設備設置補助金」を重点事業とし、早期支出に努めるなど、企業の設備投資の意欲を高める工夫をする。		
							見直し事業	「CSR推進事業」については、外部委員会に対する支出を交付金化し、委員会の主体的な取組を促進するよう見直しを図る。		
3	安定した経営基盤の確立	中小企業の製造品出荷額（百万円）	640,944	—	685,027	0.0%	総論	中小企業の安定した経営基盤を確立するため、中小企業を支援する有効なノウハウを持つ商工団体の支援に努める。また、金融危機等の急激な社会環境の変化にも迅速に対応できるように、商工団体との連携を密にし、市の補助制度や融資制度等についてもPRしていく。	9.8%	61.2%
							重点事業	市内中小企業の中核的な支援機関である商工団体を支援し、市と一体となった中小企業支援の取組を検討していく。		
							見直し事業	「河内・上河内商工会補助金」については、合併が予定されていることから、補助金のあり方を整理する。		
4	市場機能の充実	中央卸売市場年間取扱高（トン）	187,820	173,284	188,849	91.8%	総論	消費者及び生産者・出荷者のニーズに柔軟に対応した生鮮食料品の流通・供給拠点として、市場関係者との連携を図りながら、施設・設備などの市場の基盤・機能を充実させていく。	18.4%	43.3%
							重点事業	「市場施設の維持整備・修繕事業」については、円滑な取引業務および市場運営の健全性の確保を図るため、効果的かつ適切な施設・設備の維持修繕を進めていく。		
							見直し事業	—		